



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp

防災・減災プラットフォーム「cmap」アプリに天気予報などの生活指標を搭載

2023年2月13日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、リアルタイム被害予測ウェブサイト「cmap（シーマップ）」アプリ（以下、cmapアプリ）に、天気予報や道路渋滞情報など日常生活に役立つ情報を2023年2月より搭載します。また、災害時緊急情報^{※1}に合わせたイラストによる防災・減災のアドバイス機能も追加し、利用者の利便性向上および防災・減災機能の強化を図ります。

※1 Lアラート（災害情報共有システム）の情報

1. 背景

2021年5月の災害対策基本法改正で「避難勧告」が「避難指示」に一本化されるなど、災害発生時にはより早い段階での避難が重要とされています。一方、実際に災害が発生して初めて防災・減災情報に接することも多く、発信された情報を正確に理解・把握できず、逃げ遅れてしまうケースがあります。

当社では、災害発生時に役立つ情報として自然災害時の建物被害予測や避難所情報などをcmapアプリで提供してきましたが、今般、手軽に必要な情報を把握いただくことを目的に、cmapアプリを災害発生時だけでなく平時でもご利用いただけるように機能・情報を拡充しました。

2. 新機能の概要

新機能	内容	活用イメージ
生活に役立つ情報	<ul style="list-style-type: none">・天気、道路渋滞情報等の生活指標を表示・利用者の好みに合わせて、表示する情報・順番を自由に並べ替え可能	複数のアプリで確認していた各種生活指標をcmapアプリで日常的に確認することで、防災・減災情報にも触れる機会が増え、災害発生時に必要な情報を素早く正確に把握
マイマップ機能	<ul style="list-style-type: none">・表示される地図（避難先情報・道路渋滞情報・バリアフリー情報）を登録した地点付近に一括切り替え・地点登録は都道府県と市区町村名のみで可能	出張先で地震が発生した際、地域設定で「現在地 ^{※2} 」を選択するだけで各種地図情報が自動で更新され、素早い避難に繋がる
防災・減災アドバイス	<ul style="list-style-type: none">・災害時緊急情報に合わせ、災害別^{※3}にイラストを用いた防災・減災アドバイスを表示・災害時緊急情報を市区町村別に発信	あまり雪が降らない地域で大雪に見舞われた際、適切な対処法を迅速かつ分かりやすく把握することで被害の防止・軽減に繋がる

※2 位置情報の設定を許可している場合

※3 地震、津波、噴火、集中豪雨、大雪、台風

<cmap アプリ画面イメージ>



3. 今後の展開

今後も様々なお客さまの声を踏まえ、地域社会やお客さまに寄り添った防災・減災に役立つ情報を発信できるよう機能追加を検討していきます。また、データ・デジタルトランスフォーメーション（DX）を活用した共通価値創造（CSV）に資する保険商品・サービスの開発・提供により、「レジリエントな街づくり」の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

